

「能力」発見ワーク

理解力や思考能力などの「考える力」、考えたことを実行に移す「行動する力」、「対人能力」、「考え方」、「健康力」など、仕事をする上で必要な能力をリストにしました。自分に当てはまる項目にチェックを入れてみてください。頭の中で考えただけでは思いつかなかった能力や長所を発見できるはずですよ。

●考える力	
理解力	人よりも先にコツをつかむことができる
	飲みこみが速いとほめられたことがある
	物事のポイント(何が重要か)をつかむのが速い
観察力	常に周りの人に注意をはらい観察している
	友人がいつもと違うとすぐに分かる
	相手が自分のことを好きか嫌いか分かる
分析力	物事の原理原則を分析・解析することが得意だ
	データをあらゆる角度から分析して傾向や特徴を発見できる
	気がついたら原因と結果の関係を探っている
集中力	物事に集中できる
	雑音の中でも集中して仕事ができる
	短期間に集中して何かを成し遂げた経験がある
仮説検証力	何事も常に仮説を立てて検証してみる
	結果に疑問を持ち、「もしかしたら」と考えることが多い
	トラブルが起きたとき、あらゆる方法を試行して検証できる
省察力	次へのヒントを得るために失敗を積極的に振り返ることができる
	自分の考え方や行動を客観的に分析することができる
	失敗から原因を探り出すことが得意だ
俯瞰力	物事を全体的に捉え、進行状況や問題点を把握できる
	全体の中の自分の立場や位置づけが分かる
	物事の流れの全体を把握し、今の時点にいるのか認識できる
記憶力	記憶力がいい方だ
	あまり勉強しなくても成績は良い方だ
	昔あったことを覚えているので人から驚かれることがある
決断力	決断が速いと言われる
	決定をまかされることが多い
	自分の決断が結果的に正しかったことが多い
発想力	新しいアイデアを発想して問題を解決したことがある
	何もないところから何かを創り上げることが得意だ
	前例のないことに取り組んで成功させたことがある
先見予測力	これがヒットする、と思ったものがヒットすることがよくある
	予測したことが当たることが多い
	相手が次にどんな行動を起こすのか想像できる
分類整理力	多くの人のバラバラな意見を整理してまとめることができる
	たくさん情報を分類・整理できる
	物事を特徴別に分けて項目づけすることができる
効率追求力	物事に優先順位をつけ、無駄を排除する姿勢がある
	時間が無駄にならないようなスケジュールを立てている
	少しの労力で大きな成果を得られるように考え行動する
模倣力	他の人から知恵を吸収して自分のものにするのが得意だ
	自分にはないものを持っている人を尊敬し学ぼうとする
	良いと思うことはすぐに真似してやってみる
言語的理解力	SPIの練習問題で言語能力のテストの成績が良い
論理的思考力	SPIの練習問題で非言語能力のロジカル系のテストの成績が良い
数的処理能力	SPIの練習問題で非言語能力の数学系のテストの成績が良い

●行動する力	
情報収集力	目的の情報収集のための適切な方法が分かる
	新しい情報に敏感だ
	さまざまな情報を手に入れられる幅広い人脈を持っている
目標設定力	夢や目標を明確化(定量化)して取り組む
	成功のイメージを描きながら努力している
	大きなビジョンを持って物事に取り組む
計画力	何でも事前に頭の中でシミュレーションしておく
	全体の流れを把握して計画を立てられる
	目標を効率的に達成する計画を立てることができる
解決力	さまざまな角度から問題の解決策を考え実行できる
	不測の事態でも落ち着いて迅速に対応ができる
	トラブルを解決することが得意だ
実行力	計画したとおりに実行できる方だ
	有言実行タイプだ
	目標を立てたら、実現するまであきらめないで行動する
瞬発力	考えるよりも先に行動する
	見通しが不確実でも行動に移せる
	思ったことは即実行する方だ
フットワーク	フットワークの軽さが自慢だ
	何でも早め早めに行う方だ
	疑問に思ったことはその場で解決する
積極性	自分から進んで行動を起こす方だ
	人から「あなたはエネルギーがすごいね」と言われる
	困難なことにも積極的に立ち向かう
主体性	自分で考えて自分の責任で行動できる
	自分の意思で物事を判断できる
	自分の意見をはっきり述べる事ができる
スピード	素早く的確な処置で仕事ができる
	同じ仕事を人より速くできる方だ
	のんびりと作業するのは性に合わない
適応力	急激な環境の変化にも落ち着いて対応できる
	環境や状況に合わせて自分を変えられる
	どのグループに入ってもうまくやっていける
転換力	勉強と遊びのメリハリがつけられる
	行き詰ったら考え方を覚えて発想できる
	嫌なことがあってもすぐに立ち直ることができる
捨て力	積み上げたものや成功体験にあまり固執しない
	常識や古い習慣にとらわれず新しいものを積極的に取り入れる
	不要と感じた出来事やモノを積極的に忘れ捨てていく
切り上げ力	素早く的確な処置で時間通りに仕事を終わらせることができる
	今が楽しくても、明日のことを考え早めに切り上げる
	引き際をわかまえて撤退する
時間管理力	やるべきことをリストアップし優先順位をつけて行動している
	ほとんど計画通りに物事を成し遂げられる
	今日できることを明日に伸ばさない

●対人能力	
持久力	すぐに成果が出なくても辛抱強く取り組むことができる
	同じ作業をもくもくと続けても苦にならない
	つらくても途中で投げ出さず最後までやり遂げる
堅実性	時間厳守で行動している
	漏れやミスがないかを必ず確認する
	あまり勝負(ギャンブル)はしない方だ
まとめ力	グループ内の意見調整が上手
	意見が異なる仲間を一つにまとめることができる
	人から相談されることが多い
感情読取力	喜怒哀楽など相手の感情が分かる
	相手がなぜ怒っているのか(うれしいのか)理由が分かる
	この人はあの人のことが好き、という人間感情が分かる
共感力	相手の気持ち分かるだけでなく同じ気持ちになれる
	テレビや映画を見て、出演者に共感して泣くことがある
	友人と、喜怒哀楽の感情を共有できる
聴き力	相手の意見を聞いてから自分の意見をいう
	相手の立場に立って話を聞くことができる
	言葉の中から相手の本音や望んでいることを探ることができる
質問力	自分や相手が知りたい答えを導くために適切な質問ができる
	質問を繰り返すことで相手の考えがまとまることある
	質問から相手の心情を引き出すことができる
許し力	嫌なことをされても根に持つことはない
	懐が深いね、とか、鷹揚だねと言われる
	相手の悪意を感じさせる言動を許すことができる
協調性	仲間と協力して行動できる
	自分に対する人の意見を素直に受け入れることができる
	一人より皆で協力しながら目標を達成する方が好き
サポート力	困っている人を見ると助けてあげたくなる
	誰かをサポートしたり支援したりすることに喜びを感じる
	人からよく相談を受けるし、よく相談ののってあげる
報連相力	指示されたことに対して中間報告、結果報告がきちんとできる
	適切なタイミングで相手に連絡することができる
	上手に相談して上司の知恵を借りることができる
礼儀力	ビジネスマナーを理解し、正しく実践している
	気持ちのいい挨拶を心がけている
	日常生活や冠婚葬祭などの礼儀作法を理解し実践できている
統率力	リーダーに選ばれ先頭に立って行動することが多い
	多数の人を統率する能力があると思う
	リーダーとしてチームの目標を達成することができる
巻き込み力	人の協力を取りつけることがうまい
	人の意欲をかき立て、やる気にさせることができる
	自分が何かを始めると多くの人が協力してくれる
教え力	人に教えたり、人を育てたりすることに自信がある
	相手の長所を積極的に引き出すよう心がけている
	相手によって教え方を工夫できる
任せ力	相手を信頼して物事を任せることができる
	後輩の成長のために、責任は自分で取つつもりで任せられる
	一度任せたものは、途中で口を挟まず見守ることができる
交渉力	自分と相手の両方のメリットを考えながら交渉できる
	対話の中で相手との信頼関係を築くことができる
	話すことで相手が納得し、相手の協力や理解を得ることができる
演出力	自分の役割を理解し、場によさわしい自分を演じられる
	目的に合わせて場(場所やモノや話し方など)を演出できる
	TPOに合わせて服装や言葉づかいを変えられる

●考え方	
カミングアウト力	必要な場面では、包み隠さず自分を見せることができる
	虚勢を張らず、素直に自分を表現できる
	必要な場面では、プライドを捨てる勇氣を持っている
伝達力	自分が言いたいことを相手が理解できるように工夫して伝える
	同じことを伝えるときも、相手に合わせて話し方を変えている
	自分が伝えたいことを簡潔にまとめて話すことができる
好奇心	好奇心旺盛だと自分でも思う
	幅広くいろんな分野に興味がある
	おもしろいことや新しいことには目がない
責任感	自分の手がけた仕事は責任転嫁せず自分の責任で対処する
	自分の言動には責任を持っている
	誰も見ていなくても努力できる
リベンジ力	失敗の悔しさをバネに、再チャレンジできる
	リベンジで目標を達成したことがある
	何度失敗しても達成するまでチャレンジする
当事者意識	物事に関わる時、常に当事者意識を持っている
	プロジェクトの中では自分にできることは何かを自ら考え実行する
	所属する組織の問題を、自分の問題として捉えることができる
規律性	規則やルールは真面目にきちんと守る方だ
	所属する組織の秩序を維持するために規則は守るべきだ
	約束の時間に遅れたり、遅刻したりすることはほとんどない
素直力	あまり自分を誇張したりせず、ありのままにいられる
	相手の反論や批判を素直に受け止めることができる
	言い訳するのは好きではない
渴望力	心の底から「ほしい」と思うこと(モノ)がある
	ほしいと思うものは手に入れるまであきらめない
	「求めよ、さらば与えられん」の精神で行動している
体力	あまり病気になることがない
	めったに風邪をひいたりしない
	健康維持のために続けていることがある
ストレス耐性	自分でもタフだと思う
	2〜3日なら徹夜に近い状態が続いても耐えられる
	夜の寝つき、朝の目覚めはいい方だ
	自分の健康状態のチェックを定期的に行っている
	規則正しい食生活を心がけている
	暴飲暴食をすることはしない
	太りすぎず痩せすぎず、ちょうどいい体型だ
	嫌なことはすぐに忘れる方だ
	ストレスを感じたことはあまりない
	自分は幸せだと思う
	人から頼まれても嫌なものは嫌と言える
	自分なりの気分転換の方法を持っている
	夜眠れなかりたことはあまりない
自分でもポジティブ思考だと思う	
マイナスエネルギーを発する人は相手にしない	
相手の悪意を感じさせる言動は右から左に受け流せる	
頑張るとはいいいことだけど頑張り過ぎることはよくないと思う	

それぞれの「能力」について3つのチェック項目があります。2つ以上の項目にチェックがついた「能力」が、あなたの長所であり得意分野です(※言語的理解力、論理的思考力、数的処理能力は1つのチェック、体力とストレス耐性は7つ以上のチェックで長所になります)。自分でも気づいていなかった長所をたくさん発見できましたか？ こちらの「能力」発見ワークの結果を自己PRのネタ帳に記入しましょう。→ **step03**

「価値観」発見ワーク

就職におけるミスマッチの原因の大半は価値観の相違にあります。企業は自社の価値観やパーパス、目指す世界観などを公開し、共感してくれる人に仲間になってほしいと思っています。あなたは、何を大切にしていますか？ 決断を迫られたとき、何を優先しますか？ 自分の価値観を知り、志望する会社の価値観と合うかどうか確認しましょう。

●以下の表の項目の中で自分に当てはまると思うものにチェックを入れてください。

● A タイプ	長所	何事も積極的に行動するほうだ
		物事について熱中してしまう
		「いつも元気だね」と言われることが多い
		会話で相手を退屈させない自信がある
		自分の周囲に人が集まってくる
		直感を信じるほうだ
		大きな目標や、かなえない夢がある
	短所	周りの空気や相手の反応を敏感に察知する
		失敗しても、くよくよすることはほとんどない
		人生を楽しむことを大切にしている
		会話がよく横道にそれる
		どちらかという時間にルーズなほうだ
		気分がコロコロ変わる
短所	面白くするために、身振り手振りや話を誇張する	
	整理整頓が苦手で、いつも散らかっている	
	本や家電の説明書を読むのは苦手だ	
	筋道を立てて考えるのはどうも苦手だ	

● B タイプ	長所	皆と協力しながら物事に取り組む
		よく人に話しかけられる(道を聞かれることがある)
		対人関係を苦に思うことはあまりない
		相談役やコーチなどを頼まれることが多い
		どちらかという穏やかな性格だ
		自分のうわさが気になる
		仕事も遊びも、1人より皆でワイワイするのが好き
	短所	「癒やし系」だと言われることがある
		人の集まりでは、なごやかな雰囲気づくりが得意だ
		相手の気持ちをくみとめる努力をしている
		「決断が遅い」と言われたことがある
		会議などで自分の意見を述べることは少ない
		仕事や商売で「儲ける」ことに抵抗がある
短所	周囲の目を気にするほうだと思う	
	石橋をたたいて渡るほうだ	
	のんびりしているように見られることがある	
	親しい仲でも、つい遠慮してしまう	

● C タイプ	長所	自分でもまじめで勤勉なほうだと思う
		綿密にきちんと物事を進めるのが好き
		物事は道理を通すべきである
		量より、価格より、まず質を重視する
		問題のからまった糸を解くことに興味がある
		事実・真実に基づいて物事を判断する
		物を購入する際、情報(商品知識や他社比較)を念入りに調べる
	短所	仕事は何よりも正確性が大切だと思う
		自分で自分のことを管理できる
		人や物事を、いろいろ分析してみるのが好き
		自分で自分のことを固いと思うことがある
		自分で優柔不断だと思う
		こころの迫力が足りない
短所	自分から他人に話しかけることは少ない	
	喜怒哀楽を顔に出すことはほとんどない	
	冒険よりも安全を選ぶ	
	人が大勢いるところは苦手	

● D タイプ	長所	効率的・能率的に物事を運ぶのが好き
		生活の中心は仕事にしたい
		思い立ったらすぐ行動するほうだ
		責任感が強いほうだと思う
		物事は結果(成果)が大切だ
		物事をとにかく最後までやり通すことが好き
		時間に正確に行動できる
	短所	簡潔・無駄なく行動できる
		何事にもエネルギーを取り組める
		まず自分から動くことが大切だ
		相手への配慮が足りない、自分でも思うことがある
		自分の意見を押し通すことがある
		言い方がきついと指摘されたことがある
短所	マイペースで、人のペースに合わせることは少ない	
	しゃべっていて、相手を退屈させてしまうことが多い	
	高すぎる目標にも、ときとして挑戦してみる	
	「冷たい」と言われたり、自分でそう感じることもある	

A～Dタイプの、どれにたくさんチェックが付きましたか？「Aだけ多い」「Cが一番多い」という人も、「BとDが同じくらい多い」という人も、「全部同じくらい多い」という人もいます。A～Dは人間の欲求の種類です。欲求をたくさん持っている人は、複数のタイプに多くのチェックが付き、1つの欲求しか持っていない人は1つのタイプだけ突出してチェックが多いということになります。人の心の奥底には欲求(モチベーション)があります。欲求から価値観

が生まれ、価値観から感情が生まれ、感情から行動が生まれます。行動は見えませんが価値観や欲求は見えません。ただ、全部が繋がっている、行動からさかのぼって判断すると、その人の価値観や欲求が分かるのです。多くチェックがついたタイプについて、右ページの解説を読んでみてください。また、「モチベーションが上がるとき」と「価値観(大切にしていること)」を自己PRのネタ帳に記入しましょう。

→ **step03**

価値観のタイプ別解説



表出型

あなたは、明るく楽しい人。ユーモアたっぷりな話し方で周囲を巻き込み、チームのムードメーカーとなることが多いでしょう。興味があるとすぐに熱中しますが、飽きやすいのがたまにキズ。あまり秘密を持つこともなく、オープンな性格で、新しいモノ好きでもあります。過去にこだわらず、未来志向なもこのタイプの人の特徴です。短所のところに多くチェックがついた人は気が変わりやすいお天気屋さんで、論理的に考えることや細かい作業が苦手なところがあります。

モチベーションが上がるとき:褒められたとき 大勢で盛り上がっているとき 新しいものに触れたとき
モチベーションが下がる時:非難やけなしを受けたとき 細かい話や論理的な話を聞かされたとき

▼**価値観(大切にしていること):**
開放 自由 冒険 創造



友好型

あなたは親しみやすく、周囲の人に対して優しく接する人。「いい人」のイメージで、めったに怒ったりしないように見えます。友人から相談を持ちかけられることも多く、相談されると親身になって聞いてあげるので、とても頼られています。1人でのより皆で協力して何かをすることが好き。家族や友だちをととても大切にしています。短所のところに多くチェックがついた人は、「人からどう思われるか」が気になってしまう人。争いごとが嫌いで、意見が分かれたときは相手の意見を尊重します。

モチベーションが上がるとき:頼られたとき 皆と一緒に協力しているとき オンよりオフのとき
モチベーションが下がる時:せかされたとき 追い込まれたとき 厳しい人がそばにいるとき

▼**価値観(大切にしていること):**
許容 協働 感謝 愛 貢献 チームワーク



分析型

あなたは、まじめで勤勉なタイプ。理系の科目が得意で、分析することが大好きです。仕事を正確に処理できるので、経理や研究開発などの職種に就くと、とても重宝されるでしょう。博学で何でもよく知っているのもこのタイプの特徴。何かを判断するときも、その知識情報をフル活用しています。大勢でワイワイやるのは苦手、1人でコツコツ作業することが好き。短所のところに多くチェックがついた人は、少し「ネクラ」なイメージ。また、保守的な考えを持っていて、思ってもすぐには行動しない人です。

モチベーションが上がるとき:分析しているとき 完璧なものできたとき 資料やデータが山積みするとき
モチベーションが下がる時:臨機応変に対応しなければならないとき せかされたとき

▼**価値観(大切にしていること):**
安全 安定 正確 ゆとり



主導型

あなたは、リーダータイプ。責任感が強く、判断力に優れ、行動もスピーディー。自信にみちた行動でメンバーをぐいぐい引っ張っていきます。「趣味は仕事」と言い切り、家庭や友人より仕事を優先します。プロセスよりも結果を重視するタイプで、自分に厳しく、常に高い目標にチャレンジするのですが、それを他人にも強要してしまうことがあるので気をつけましょう。短所のところに多くチェックがついた人は、何でも自分で決めたがる人。周囲の意見にも耳を傾けることで、さらに大きく成長できるでしょう。

モチベーションが上がるとき:高い目標にチャレンジしているとき その目標を達成したとき 効率的なとき
モチベーションが下がる時:プロセスを評価されるとき ネガティブな人と一緒にいるとき 非効率的なとき

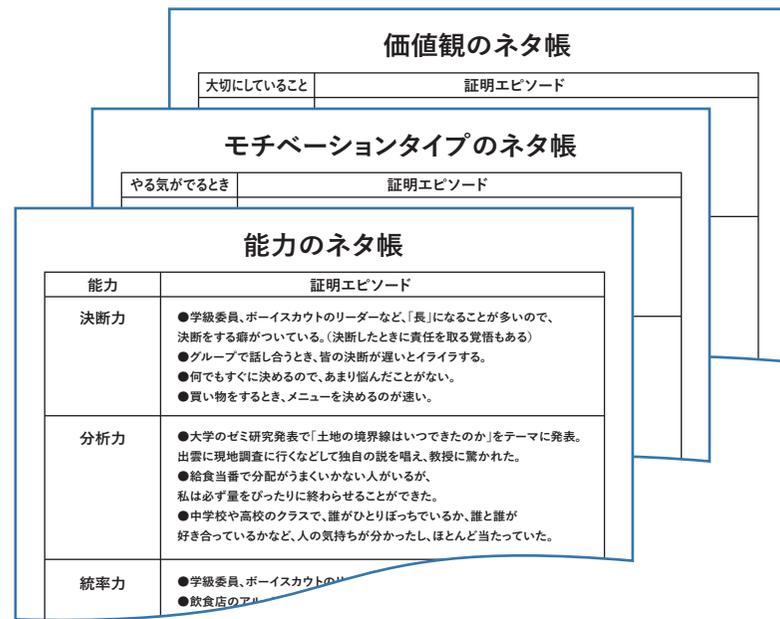
▼**価値観(大切にしていること):**
達成 挑戦 一貫 効率 変化

「自己PRのネタ帳」作成

自分の能力やモチベーションタイプ、価値観について分かったことを表にまとめて、「自己PRのネタ帳」をつくりましょう。数多くのネタの中から志望する会社の採用基準に合ったものを選んで、会社ごとの自己PRを自在に組み立てることができます。ネタ帳づくりはちょっと大変な作業かもしれませんが、これ1冊あれば自己PR対策はバッチリです。

● ネタ帳づくりのポイント

「自己PRのネタ帳」は、「能力(長所・得意分野)のネタ帳」「モチベーションタイプ(やる気が出るとき)のネタ帳」「価値観(自分が大切にしていること)のネタ帳」の3種類をつくります。そこにstep01と02のワークで発見した内容を記入。それぞれの内容を証明するエピソードについても書き出しておきましょう。面接で「私の長所は〇〇です」と言ったあとに事例を話すことで、「本当にこの人は〇〇なんだ」と納得してもらうことができるからです。エピソードはたくさんあればあるほど、証明の効力が上がります。最低でも3つ以上あったほうがいいでしょう。自分史をつくっている人は、そこからエピソードが拾えます。自分史がない人は、自分の子どもの頃のエピソードを両親に聞いてみたり、アルバムをめくったりしながら、過去を思い出してください。



「会社研究シート」作成

会社がどんな人を求めているのかを知らないで選考を受けることは、合格ラインが分からない試験にチャレンジするのと同じ。それでは、あまりにも無謀です。会社研究は、事業内容や仕事内容を知ることが目的ですが、「会社がどういった人を求めているのか」「どんな人が活躍しているのか」、採用基準を探ることも忘れずに。

● 求める人材像を探る

「求める人材像(ペルソナ)」は、志望する会社の採用基準の一部です。それにマッチしない人は入社できません。採用情報に「求める人材像」が書かれていると分かりやすいのですが、明記されていない場合は、「〇〇な人に期待しています」「〇〇な人に仲間に加わってほしい」「〇〇な人のエントリーをお待ちしています」といった表現を探してみてください。また、情報サイトや採用HP、パンフレットなどに登場する先輩は、その会社で活躍している人であり、求める人材像そのものです。インタビュー記事を読んで、どんな能力を発揮しているのか、仕事をするうえで何を大切にしているのか(価値観)、仕事にどんなやりがいを感じているのか(モチベーションタイプ)を探ってみましょう。会社研究シートには、求める人材像だけでなく、一般的な会社研究で分析する内容も記入しておきます。自己PRするとき、自分が成果をあげられることを説明するためです。詳細は下のcolumnを参考にしてください。

会社研究シート	
会社名	
事業内容	
募集職種	
具体的な仕事内容	
求める人材像	
ビジョン	
価値観	
社風	

● 事業内容

事業内容を羅列するだけでなく、会社の強み(競合との差別化)を探しましょう。

● 仕事内容

抽象的な書き方ではなく、具体的にどう行動するのかを書きます。先輩のインタビュー記事などを参考にしてください。

● 求める人材像

この会社で活躍している人、成果をあげている人はどんな人か、事業内容や仕事内容、ビジョンや採用メッセージなどから探って書き出します。

● ビジョン

会社の将来像を確認しておきましょう。「将来こうしたいから、今後はこういう人材を求めよう」という文脈がある場合は、求める人材像欄にも記入を忘れずに。

● 価値観

企業理念や行動指針を見て会社の価値観(大切にしていること)を探ります。

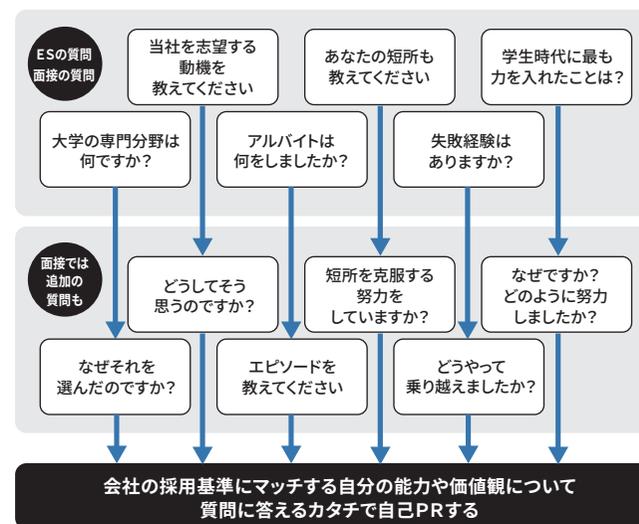
● 社風

その会社を持っている雰囲気や文化、どんな先輩が働いているのかなど、気づいたことを書き出しましょう。

志望する会社ごとの自己PRをつくる

● 効果的な自己PRのつくり方

自己PRネタ帳と会社研究シートを手元に用意してください。会社研究シートを見て、求める人材像や、仕事をする上で必要な能力や価値観などを確認します。それに当てはまる項目を、自己PRネタ帳からピックアップしてください。エントリーシートや面接など自己PRの場面で、ピックアップした内容を全部伝えられればOKです。ただし、自由にプレゼンテーションできるわけではありません。エントリーシートには、「学時代に最も力を入れたことは何ですか?」「失敗経験を教えてください」「志望動機は何ですか?」「当社でどんな仕事がしたいですか?」など、会社側からの質問が書かれています。面接でも面接官から同様の質問があります。つまり、自己PRにおいては、質問に答えるカタチで自分の魅力を伝えることが必要。質問の意図をくみ取り、答えの中に「私は御社の採用基準を満たしています」という内容を盛り込むようにしてください。右ページに自己PRを盛り込んだ答え方の事例を記載しました。参考にしてください。



Q. 学生時代に最も力を入れたことは?

最も力を入れたことを答えたあとに、力を入れた理由、それによって身につけた知識やスキル、それをきっかけに変わった価値観や考え方について説明しましょう。この説明と、それまでの質問で答えてきた内容との間に整合性があるか、(その会社の採用基準にマッチした)長所、やる気になるとき、価値観をさらに強調して伝えることが可能。最後に「この経験で身につけた〇〇というスキルは、御社の□□の仕事に生かされると考えております」と締めくくると、志望動機の根拠づけにもつながります。<答え方>力を入れたこと→長所や興味があることを強調。力を入れた理由→やりたいことや熱意を強調。身につけた知識やスキル→能力や学びへの意欲を強調。変わった価値観や考え方→価値観や成長を強調。まとめ→志望動機を強調。

Q. 失敗した経験はありますか?

失敗は成功のもと。失敗に学び、やり方を改善することが成功へとつながります。つまり、人は失敗経験を通して成長していくということ。「失敗したことはありますか」という答えは「私はまったく成長していません」と言っているのと同じです。面接官が知りたいのは「どんな失敗か」ではなく、失敗した後にどう対応したか。あなたが成長できる人かどうかが見極めようとしているのです。<答え方>計画通りにいかなかったとき、失敗の原因をどう分析したかに、あなたの課題発見力が表れます。また、どのような改善策を考え実行したかに、あなたの創造力や実行力が表れます。これをPDCAサイクルと言います。失敗と対策の経験を語ることは「PDCAサイクルを回せる」=「仕事ができる」ことをアピールする絶好のチャンスなのです。

Q. 当社を志望される理由は何ですか?

面接官が知りたいことは、「その会社のどこに興味を持ったか」ではなく「入社後にどんな仕事をして将来的に何を成し遂げたいか」という点。そこには「その会社でなければならない理由」が盛り込まれていなければならない。また、志望理由は具体的であるほど説得力があります。「本当に当社を志望してくれているんだな」と相手も納得できるように話してください。<答え方>自己PRネタ帳と会社研究シートをもとに次のような流れでストーリーにまとめておきましょう。1. 志望企業のどの部分に興味を持ったのか。→2. その理由は何か。自分の長所や価値観と絡めて話す。→3. 入社してどんな仕事をしたいか。→4. 入社後の自分の将来の目標。→5. どうしてその会社でなければならない理由。

Q. あなたが大切にしていることは?

何が大切で、何が大切でないかという判断基準のことを「価値観」といいます。同じ価値観を持つ人の行動は理解しやすいのですが、価値観が違う人の行動は、「何でこの人は、こんなときにこんなことをするんだろう?」と不思議に思えます。また、一緒に過ごしているとき、同じところで笑ったり、同じところで感動できたりする人と、そうでない人がいることは、楽しくモチベーション高く仕事をするための大切なポイントです。<答え方>仕事ができることだけでなく、会社の先輩たちと同じ価値観で仕事ができることをアピールしましょう。価値観に優劣はありません。合う合わない、だけです。面接では正直に答えてください。合わないまま就職しても辛い思いをするだけです。